

組込みソフトウェア開発技術研究会 2002 年度事業計画

1. 事業計画

組込みソフトウェア開発技術研究会（CEST）では、2001 年度に引き続き、以下の事業を継続して実施する。

（１）組込みソフトウェア技術者のコミュニティ作りとその運営

組込みソフトウェア技術者のコミュニティを作り、技術者同士での情報交換や技術交流を通じて、相互の技術レベルアップを図る。そのために、次の要領で技術交流会を開催する。

日 時：毎月 1 回 2 時間程度（原則として第 1 火曜日午後 6 時 30 分から）

内 容：企業の技術者からソフトウェア開発の現状や問題点に関する話題提供をいただき、それについて情報交換を行う。

大学等の研究者から最新の技術動向について紹介する。

基盤技術の共同研究・開発に関する打ち合わせを行う。

また、会員のためのメイリングリストや、会員のみアクセス可能なホームページを用意し、インターネットを通じての技術交流も行う。

（２）組込みソフトウェア基盤技術の共同研究・開発

第 20 回技術交流会よりはじめた組込みソフトウェア開発のためのデザインパターン作成を引き続き行うこととする。2002 年度については、作成したデザインパターンのまとめを会員に委託することを検討する。またその他の共同研究開発テーマについても引き続き可能性を検討する。

会員企業は自由に共同研究・開発へ参加できることとし、共同研究・開発への参加形態は、それぞれの企業の実体に合わせ決められるものとする。共同研究・開発への参加形態によっては、研究会会費以外の負担をお願いする場合もある。

（３）組込みシステムに関するセミナーやワークショップの企画・開催

会員の技術向上や共同研究・開発の参考とすることを目的として、組込みシステムの開発技術に関するセミナー及びワークショップを企画・開催する。2002 年度においては、年間に 2 回程度のセミナーを開催するとともに、組込みシステム技術に関するサマーワークショップ（SWEST）を共催事業として実施する。セミナーには非会員も参加できるものとするが、参加費などの面で会員を有利に扱う。

2. 活動のスケジュール等

(1) 技術交流会

毎月一回、定例会として開催。内容は、話題提供（各社の事例発表） 共同研究・開発について（自由討論）にわかれる。2002 年度の開催日程（予定） 話題提供（予定） 開催場所（予定）は以下のとおりである。（会場場所として、3 ヶ月に 1 回は豊橋商工会議所で行う）

第 34 回	2002 年 4 月 2 日（火）	穴田啓樹氏 ヤマハ（株）	豊橋サイエンスコア
第 35 回	2002 年 5 月 7 日（火）	高田広章氏 豊橋技術科学大学	豊橋商工会議所
第 36 回	2002 年 6 月 4 日（火）	鈴木郁子氏 シャープ（株）	豊橋サイエンスコア
第 37 回	2002 年 7 月 2 日（火）	服部博行氏 （株）ヴィッツ	豊橋サイエンスコア
第 38 回	2002 年 8 月 7 日（水）	増田英孝氏 東京電機大学	豊橋商工会議所
第 39 回	2002 年 9 月 3 日（火）	大楠達郎氏 （株）デンソー	豊橋サイエンスコア
第 40 回	2002 年 10 月 1 日（火）	市川周一氏 豊橋技術科学大学	豊橋サイエンスコア
第 41 回	2002 年 11 月 5 日（火）	式田秀男氏 三菱電機オートエレクトロニクスソフトウェア（株）	豊橋サイエンスコア
第 42 回	2002 年 12 月 3 日（火）	高木哲郎氏（株）デンソークリエイト	豊橋商工会議所
第 43 回	2003 年 1 月 7 日（火）	斉藤直希氏 名古屋市工業研究所	豊橋サイエンスコア
第 44 回	2003 年 2 月 4 日（火）	志水寿好氏 （有）アルソフト	豊橋サイエンスコア
第 45 回	2003 年 3 月 4 日（火）	未定（株）富士通コンピュータテクノロジ	豊橋商工会議所

(2) 技術セミナー等

技術セミナーは年 2 回を計画し、前期及び後期各 1 回の開催を計画する。

勉強会は、週 1 回の頻度で 8～10 回程度実施することとし、元会員の篠井美枝子氏にアドバイザをお願いする。（時期及びテーマは調整中）

(3) 共催事業

組込みシステム技術に関するサマークワークショップに共催予定

2002 年 7 月 23 日（火）・7 月 24 日（水）

場所：遠鉄ホテル エンパイヤ

(4) 懇親会

会員の交流を図るため懇親会を年 2 回予定する。（セミナー後の懇親会は別途検討する）

第 5 回 2002 年 5 月 7 日（火）

第 6 回 2002 年 12 月 3 日（火）